

令和4年度 第59回 大学院セミナー

令和5年 1月 7日

分野名 Area of Research (責任者名)(内線)	呼吸器内科学分野 責任者名(迎 寛) 内線(7273)
演 題 Title	抗菌薬適正使用活動における ICD と薬剤師の連携・基礎研究も含めて
講 師 等 Presenter	大阪市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学 教授 掛屋 弘 先生
概要 Abstract	<p>抗菌薬適正使用(Antimicrobial stewardship; AS)活動は医師、薬剤師、臨床検査技師が中心となるASチームがその任を担う。その中で、微生物検査室からの情報を元に、感染症の診断の適切なアドバイスや抗菌薬の選択、治療期間の決定等に携わる感染症専門医師と投与量や特殊な患者への注意点、薬物相互作用等のアドバイスを行う薬剤師は連携して担当医にフィードバックすることが求められる。</p> <p>大学病院等の基幹病院にはAS活動に携わる専従スタッフがある程度揃っており、コロナ禍でも十分な活動を維持できているが、地域の医療施設では人員不足とコロナ対策に追われAS活動が十分活動できていない現状が垣間見られる。当院では、薬剤師は感染制御部の「専従」として、AST活動の中心的役割を担っており、特定抗菌薬の処方例の管理～抗菌薬適正使用の判断、長期抗菌薬投与患者の管理～治療継続要否の判断等、医師から薬剤師へのタスクシフトも進んできている。講演では当院のAS活動を紹介する。また、最近の抗菌薬および抗真菌薬に関する基礎研究をあわせて報告する。</p>
開催日時 Date and Time	令和5年 2月6日(月) 13:00 ~ 14:00
開催方法 Online/Face to face	対面 : 医局棟9F ゼミ室大
備 考 Notes	セキュリティカード不所持、場所が不明な方は、以下までお問合せください。(第二内科医局 : 内線 7273 or 95175)

- 先端医療科学特論(基礎編)
- 先端新興感染症病態制御学特論
- 日本語(Japanese)
- 対面(Face to face)

- 先端医療科学特論(臨床編)
- 先端放射線医療科学特論
- 英語(English)
- オンライン(Online)